

報道関係各位

2024年1月9日
株式会社LIXIL

脱炭素・循環型社会の実現に向け、「樹脂窓リサイクルビジョン」に賛同 LCA評価を用い環境負荷を低減する、地域に最適な窓『GREEN WINDOW』推進

株式会社LIXIL（以下、LIXIL）は、脱炭素・循環型社会の実現に向けて、一般社団法人日本サッシ協会、樹脂サッシ工業会、塩ビ工業・環境協会が公表した「樹脂窓リサイクルビジョン」の趣旨に賛同いたします。



2050年のカーボンニュートラル社会実現を目指し、日本国内では住宅、建築物の高断熱・高気密に貢献する樹脂窓をはじめとした高性能窓の普及が期待されています。その中で、SDGsや循環経済を目指すサーキュラー・エコノミーの考えが世界にも広く浸透し、ドイツを中心に発展した樹脂窓リサイクルの事業も欧州各国に広がりを見せ、窓としての品質性能だけでなく、環境や社会にも貢献する多様な性能が求められるようになってきています。

日本の樹脂窓は1980年頃、寒冷地である北海道を中心に広く普及していますが、使用済み樹脂窓の大部分が埋立処分され喫緊に解決すべき重要な課題の一つとなっています。

LIXILでは、こうした課題解決に向けて、製品の原材料として可能な限りリサイクル素材を使用し、長寿命化とリサイクル性を考慮した設計を行うなど、製品設計において責任ある資源の使い方を推進しています。具体的には、樹脂窓EWにおいて樹脂フレームのリサイクル材使用率を従来品よりも約3倍に拡大しています。加えて、接着剤を使用せず樹脂フレームとガラスの分離回収が容易に可能な[押縁仕様]を採用し、この他にも樹脂型材と同時に再生利用ができる樹脂ラッピング材を使用しています。LIXIL社内における樹脂窓の端材再生利用率100%を目指し、2024年3月期には達成する見込みです。今後、樹脂窓のリサイクルシステムの構築を目指し、樹脂窓水平リサイクル実装実験を行う予定です。

LIXILは先般、これからの時代に相応しい窓として、環境負荷を低減する、地域に最適な窓の総称を『[GREEN WINDOW](#)』と宣言・定義しました。省エネルギー性（窓の断熱性能と日射取得

率) と、資源循環といったライフサイクル全体から環境負荷を定量的に判断し、豊かで快適な住まいを実現する、地域に最適な窓をご提案していきます。

About LIXIL

LIXILは、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約55,000人の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。

株式会社LIXIL（証券コード：5938）は、2023年3月期に1兆4,960億円の連結売上高を計上しています。

LIXILグローバルサイト：<https://www.lixil.com/jp/>

LIXIL Facebook（グローバル向け）：<https://ja-jp.facebook.com/lixilglobal/>

LIXIL Facebook（日本国内向け）：<https://www.facebook.com/lixilcorporation>